

科学ヘジャンプ・イン・浜松 2017 報告書

自主開催

— JUMP TO SCIENCE in GIFU 2016 Report —

概要

日程：平成 29 年 11 月 25 日(土)
10 時～15 時 30 分
会場：静岡県立浜松視覚特別支援学校
対象：視覚障害のある小学校 3 年生以上の小中高生で、科学に興味を持ち、当日のイベントに参加可能な児童・生徒
参加者：19 名
保護者・付添い者：17 名
外部講師：9 名
見学者：9 名
スタッフ：61 名
主催：科学ヘジャンプ・イン・浜松実行委員会
後援：中部地区盲学校長会 静岡県教育委員会

プログラム

10:00～10:30 受付
10:30～10:50 開会の集い
11:00～12:30 〈ワークショップ I〉
・電子レンジでいろいろな物を温めてみよう
・アフリカの楽器を演奏してみよう
・お茶の美味しい入れ方教室
・弥生時代の楽器を作ろう、奏でよう
・鳥の形と大きさ (タッチカービングを使って)
〈保護者向け企画〉グループごとにワークショップ見学
12:30～13:30 昼食
13:30～15:00 〈ワークショップ II〉
午前のワークショップで、児童生徒を入れ替えて実施
〈保護者向け企画〉
浜松ゆかりの人たちによるパネルディスカッション
「卒業後の生活に向けて～子育てのヒント～」
15:10～15:30 閉会の集い

内容

5つのワークショップがあり、児童・生徒は午前と午後でひとり2種類のワークショップを体験できました。保護者企画では、午前にワークショップの見学、午後に浜松ゆかりの視覚障害を持ちながら自立されている先輩たちをパネリストとして招き、パネルディスカッションを行いました。

「アフリカの楽器を演奏してみよう」

講師：嶋、小田 (浜松市楽器博物館)



「弥生時代の楽器を作ろう、奏でよう」

講師：佐々木幸弥、睦美 (武蔵野美術大学、生田流箏曲正派邦楽会)



「鳥の形と大きさ」

講師：鳥山



「電子レンジでいろいろな物を温めてみよう」

講師：矢島



「お茶の美味しい入れ方教室」

講師：長谷川 (お茶インストラクター)



「保護者向け企画 II」



参加した児童生徒の感想、次回やってみたいことなど

- 電池やホッカイロの仕組みが知りたいです。
- またその地域の楽器などをやりたい。
- 原子を化合させたり、物質を混ぜて起こる変化の実験もできればやりたいと思っています。
- 今日飲んだお茶が全部同じ葉からできていることを知った。
- 他にもやっていないことをやってみたい。

参加した保護者の感想

- 見学者の方なども大勢いらっしゃっていて驚きましたが、視覚障害者への関心の高さ？又は積極的？など感じるものが多々ありました。
- 娘の生き生きした姿を見て参加してよかったと思いました。
- 保護者の情報交換会でも貴重なお話を伺うことができ、参加してよかったです。
- 今回いくつかのテーマがあったけれど子供が興味のあるテーマの所を見ることができたら、もっとよかったかなと思いました。でも楽しそうでしたのでよかったです。
- 体を使ったダイナミックなクラスがあると思う。AM,PM 両方とも座りっぱなしは子どもも大変かな。
- もっと子供が主体となって進められる場面があると良いと思う。
- 同じ学校の子とバラバラで心配でしたが、結果的に違う学校の子と話しながら笑顔も見られたので良かったです！